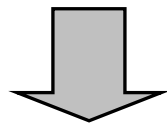


平成21・22年度工事等請負有資格業者名簿の策定について

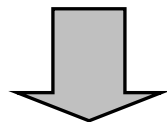
スケジュール

H20.6.中旬～下旬 入札参加資格審査説明会(県内で7回開催)



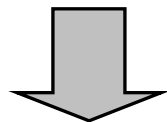
審査基準日(H20.7.1)

H20.9～11 入札参加資格申請受付 (前回実績 3,231社)



名簿とりまとめ

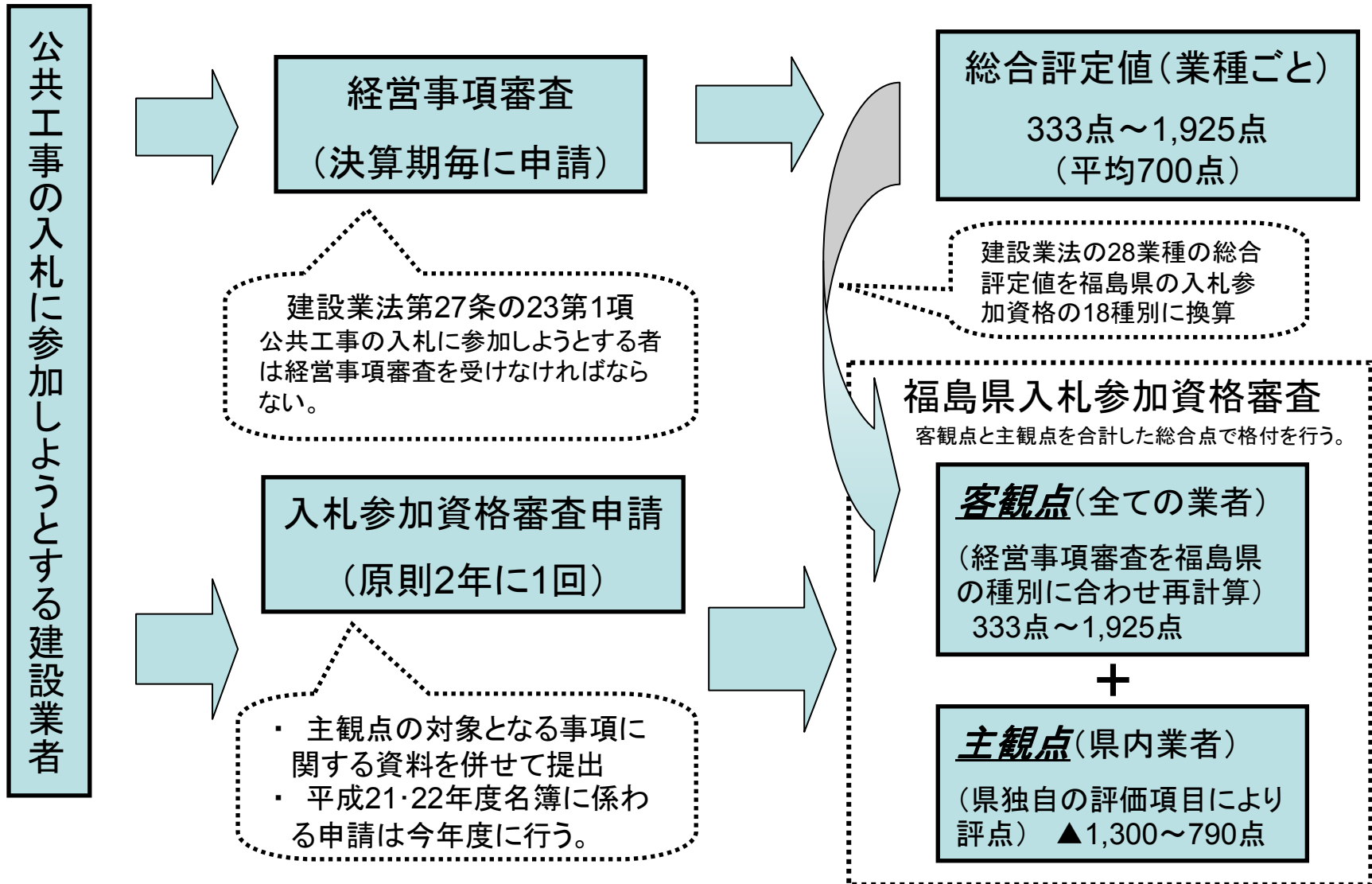
H21.2 入札参加資格決定(入札参加者資格審査委員会)



H21.4.1 平成21・22年度工事等請負有資格業者名簿の発効

本県の公共工事の入札参加資格審査の概要

(平成19・20年度工事等請負有資格業者名簿)



経営事項審査の改正の概要

- 建設業法施行規則が以下のとおり改正（平成20年4月1日施行）
- 改正のポイント：従来に比べ、同じ完工高でも経営の内容、社会的責任の果たし方などによる差が生じやすく、生産性の向上や経営の効率化に向けた企業の努力を評価

項目区分	審査項目 (新経審での改正点)		旧 (～H20.3) ウエイト	新 (H20.4～) ウエイト
経営規模	完成工事高(上限値の引下げ等)	X1	0.35	0.25
	自己資本額等(利益の追加、評点幅を拡大等)	X2	0.10	0.15
経営状況	経営指標(従来の12指標を全面的に見直し、8指標に組替え)	Y	0.20	0.20
技術力	技術職員数等(新たに元請完工高を評価項目に追加)	Z	0.20	0.25
その他の審査事項(社会性等)	労働福祉、営業年数等(法令遵守、監査受審などが追加)	W	0.15	0.15
総合評定値	各点数にウエイトを乗じて合算	P	1.00	1.00

※ 完成工事高(X1)と技術力(Z)を業種別に審査し、業種別に総合評定値(P)を算出

※ それぞれの審査項目は、平均700点となるように設定

現在の本県の主観点評価項目

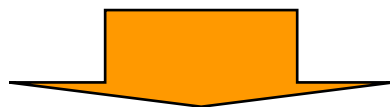
■平成19・20年度工事請負等有資格者名簿における主観点の評価項目

区 分	評価項目	区 分	評価項目
工事施工能力	・工事成績	地域社会の要請 への対応	・障害者の法定雇用義務の遵守 の有無
	・工事施工の状況(下請発注比率)	法令違反等の処分	・建設業法に基づく処分の有無
	・優良工事の有無		・資格の認定の取消の有無
地域社会の要請 への対応	・ISO認証の取得の有無		・入札参加資格制限（指名停止） の有無
	・次世代育成支援企業の認証の 有無 (「子育て支援」中小企業認証、 「仕事と生活の調和」推進企業 認証)		

本県の主観点の新たな評価項目

(平成21・22年度工事等請負有資格業者名簿)

建設産業を取り巻く環境の変化(一般競争入札の導入、公共事業の減少)



地域社会の要請への対応を適切に評価 ~地域貢献に努力する企業が評価される制度~

